

1. 面接官の印象

《外国人面接官》

男性、40代ぐらい。フレンドリーな感じがしました。

《通訳ガイド》

女性、40代ぐらいに見えました。最初は若干声が小さく感じましたが、外国語訳の日本語聞き取りに支障はありませんでした。

2. 2分間プレゼンテーションについて

《出題されたトピック》

- 大政奉還
- 免許返納
- 一汁三菜

《選択したトピック》

『 免許返納 』

《発表した内容》

「日本人の平均寿命が延びているので、老人のドライバーも増え、老人の起こす交通事故も増えている。特に、シリアスなケースが起こっているので、政府は老人に免許を返納することを奨励している。ただ、運転できなくなると、通院や買い物が不便になるので、そうしないことが必要」ということを、グダグダな英語（再現不能）で説明しました。単語をかんだり、言っていることが重複していると思いながら話している部分はありましたが、頭が真っ白になって沈黙する事態だけは避けることを心掛けました。プレゼン開始前に、腕時計を外して机の上に置き、「時計を使ってもいいか？」と確認し、OKだったので、時計を見ながらプレゼンしました。また、開始の合図は特になかったので“Shall I start?”と言って、自分のタイミングで始めました。始めてからほぼ2分でストップがかかりました。

《質疑応答について》

自動車を持っている人は多いのかと聞かれ、「若い人は車を必要としていない人もいるみたいだが、自分のような年配者は大体持っていると思う。いつでもどこでも行けるのは便利だ。」（再現不能）みたいな話をしました。

3. 通訳試験について

《出題された日本文》

日本の小学校では生徒が掃除をしている。

柔道や剣道など、武道の稽古の前後に道場を掃除する。このことに由来している。

主体性、協調性、責任感の育成に効果があり、海外でも取り入れられている。

《自分の解答》

掃除は **sweeping**、協調性は **harmonization** と訳した気がします。主体性の英語訳が出てこなかったのも、すっ飛ばしました、
稽古の前後は “before and after training” 道場は “training place” と訳しました。

4. ロールプレイについて

《場面設定》

お客様が学校の見学を希望されている。お客様は学校の先生で、一週間滞在中。
あなたはどうしますか。

《ロールプレイ》

I	許可を取らなければならないので、問い合わせる。すぐには返事が来ないので、少し待ってほしい。幸い、1週間滞在されるということなので、時間はある。1校だけでなく、複数問い合わせしてみる。
NS	コストはかかるのか？
I	学校によると思う。公立校であれば費用は必要ないと思うが、私立校であれば多少必要になるかもしれない。
NS	何か持っていく物はあるか？
I	(いまいち意味が分からず、問われていることと違うかもしれないと思いながら) もし、写真が撮りたくてカメラを持っていくというのであれば、写真を撮っていいか事前に確認する。
NS	何か持っていく物はあるか？
I	(やっぱりかみ合っていない、と思いながら) 特に持っていくものはないと思う。 ⇒ひょっとしたら、「お土産は必要か？」と聞かれていたのかも後で思いました。

5. 試験を終えての感想

プレゼンやロールプレイなど、全体的に振り返って、内容が薄いうえに英語はグダグダで、とてもうまくいったとは言えませんが、それでも、セミナーで事前演習していたおかげで戸惑うことはなく、「一生懸命説明してます」的な熱意は伝わったのではないかと思います。とりあえず、頭が真っ白になって沈黙ということもなく、時間いっぱいしゃべれたので、現在の実力は出せたかなと思う反面、毎回のセミナー同様、内容や英語そのものの実力のなさをあらためて痛感させられた面接でもありました。